

令和4年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概	名称	公益社団法人宮崎県畜産協会			所在地	宮崎市広島1丁目13番10号		
	電話番号	0985-41-9300			ホームページ	http://www.miyazakiken-chikusan.jp/		
	設立年月日	2/22/1956	代表者	代表理事	坂下栄次	県所管部・課	農政水産部畜産新生推進局	
	総出資額	857,946 千円		県出資額	182,858 千円	県出資比率	21.3%	
要	設立目的	農業者等の畜産経営の安定・発展、家畜衛生の向上並びに家畜の円滑な流通等に貢献し、もって畜産の振興と消費者への畜産物の安定供給に寄与する。						
	特記事項							

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
改革工程	①公社等のあり方見直し	公益目的に則した組織運営の推進	新型コロナの影響で多くの農家が経営悪化の不安を抱える中、積極的な情報提供と緊急支援事業の実施に努めた。	長引く新型コロナの影響で、畜産農家が経営悪化の不安を抱える中、「経営支援対策」、「畜産物価格対策」、「衛生指導対策」を柱に、積極的な事業推進と緊急支援事業の実施に努め、農家の不安解消を図った。	新型コロナに加え、原油価格・物価高騰等の影響緩和を図るため、引き続き積極的な情報提供と事業実施に努め、総合的畜産経営支援組織としての役割を果たす。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	効率的な事業運営を図るため、電算システム改善等に取り組むとともに、勤怠管理システムを導入し、業務改善に向けた意識改革を図った。	効率的な事業運営を図るため、電算システム改善等に取り組むとともに、就業規則等を改正し、業務改善に向けた意識改革を図った。	電算システム改善等に取り組むとともに、業務改善に向けた意識改革を図る。	
		財務改善	運営管理費の安定確保	収支相償を基本に、経費節減と安定した自主財源の確保に努めた。	収支相償を基本に、計画的支出、経費節減及び安定した自主財源の確保に努めた。	収支相償を基本に、計画的支出、経費節減及び安定した自主財源の確保に努める。
		組織等適正化	業務の見直し・合理化のための人員配置	プロパー職員1名を採用し、年齢構成や男女比等を考慮した人員配置と業務配分に努めたが、新型コロナ緊急支援事業により業務量が増え、部・課を超えた執行体制で対応した。	年齢構成や男女比等を考慮した人員配置と業務配分に努めたが、新型コロナ緊急支援事業により業務量が増え、部・課を超えた執行体制で対応した。	年齢構成や男女比等を考慮した人員配置と担当業務の配分に努めるとともに、突発的な業務に対応できる緊急的な体制も考えながら取り組む。
③県と見直し等の関係	人的支援見直し	県職員派遣の見直し検討	県退職者1名、県からの派遣職員3名で対応した	県退職者3名、県からの派遣職員2名の計5名、前年から1名の増で対応した。	県退職者4名、県からの派遣職員2名の計6名、前年から1名の増で対応する。	
	財政支出見直し	運営補助金の見直し検討	県補助金は畜産農家の経営安定を図る上で重要であり、今年度は新型コロナ対策で大幅に増加した。県との役割分担で当協会が実施主体となり、連携して適正な業務執行に努めた。	昨年度は新型コロナやASF対策等の緊急支援事業により大幅に増加したが、それらの終期により大きく減少した。県補助金は畜産農家の経営安定を図る上で必要なものであり、県との役割分担で当協会が実施主体となり、連携して適正な業務執行に努めた。	各補助金については、県との役割分担を明確化し、協力・連携の強化を図ることで、効率的で適正な業務執行に努める。	
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	HPやFBを活用し、リアルタイムでの情報提供に努めた。	HPやFBを活用し、リアルタイムでの情報提供に努めた。	HPやFBを活用し、リアルタイムでの情報提供に努める。		

人的支援	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
職員数	役員数	27	1	3	23	28	1	4	23
	常勤	1	0	1	0	2	0	2	0
	非常勤	26	1	2	23	26	1	2	23
職員数		29	2	2	25	27	2	2	23
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	44,057	39,419	43,413	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	159,131	461,880	341,667	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	18,650	18,164	12,570	
	その他の県からの支援等	0							

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和3年度決算額(千円)	令和4年度予算額(千円)	種別
	①	肉豚経営安定対策事業	養豚農家の価格安定を支援するために基金を造成し、豚マルキン生産者負担金の一部を助成する。	246,120	0
②	肉用牛肥育経営体質強化支援対策事業	経営が圧迫する肥育農家支援のため牛マルキン生産者負担金の一部の助成又肉用牛肥育経営分析システムを構築する。	54,606	0	補助金
③	畜産コンサル体制強化支援事業	畜産農家を対象とした経営分析・指導を実施	27,741	36,263	委託料
④	みやざき畜産生産性向上対策事業	高度な技術と指導力を有する畜産技術員の育成、経営改善に有効な取組の実践。検証を行うことで県内全域へ波及を図る	10,304	0	補助金
⑤	みやざきの家畜防疫強靱化事業	県内一斉消毒の日(毎月20日)の啓発及び確認、又飼養衛生管理基準の徹底、農家・農場情報の収集等を行う。	10,801	10,801	委託料

実施事業	① 畜産農家に対する経営・生産技術に係る指導助言（コンサルタント）及び家畜・機械導入等の生産振興対策						
	② 肉用牛農家及び酪農家の生産技術に関して、データベース化による経営改善指導事業						
	③ 畜産物価格安定事業に係る肉用子牛、肥育牛、豚の生産者積立金の基金造成及び管理業務						
	④ 豚の登録業務及び良質堆肥生産・流通等に係る家畜排せつ物適正処理指導業務						
活動指標	指標名	算式（単位）	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	① 生産・経営指導、データベース支援農家数	経営分析システムによる分析実施農家数（件）	850	1,007	118.5%	850	850
② 契約肉用牛登録頭数	肥育経営安定対策登録頭数（頭）	61,000	64,113	105.1%	61,000	61,000	
③ 契約子牛個体登録頭数	子牛生産者補給金個体登録頭数（頭）	70,000	70,904	101.3%	70,000	70,000	
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書（千円）			貸借対照表（千円）			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
経常収益	1,373,163	8,825,230	1,877,394	資産	4,956,841	3,634,265	4,043,416
経常費用	1,366,655	8,805,186	1,863,733	流動資産	730,350	366,344	328,157
当期経常増減額	6,508	20,043	13,661	固定資産	4,226,491	3,267,921	3,715,259
経常外収益	8,549,801	394,229	252,582	負債	1,221,550	1,167,552	1,128,073
経常外費用	8,552,324	393,771	252,582	流動負債	277,767	222,525	173,546
当期経常外増減額	-2,523	458	0	固定負債	943,783	945,027	954,527
税引前当期一般正味財産増減額	3,985	20,501	13,661	正味財産	3,735,292	2,466,713	2,915,343
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	指定正味財産	3,075,234	1,786,153	2,221,122
当期一般正味財産増減額	3,985	20,501	13,661	（うち基本財産への充当額）	0	0	0
一般正味財産期首残高	656,074	660,058	680,560	（うち特定資産への充当額）	-2,739,623	-1,784,033	-2,210,456
一般正味財産期末残高	660,059	680,559	694,221	一般正味財産	660,058	680,560	694,221
当期指定正味財産増減額	-7,392,549	-1,289,080	434,969	（うち基本財産への充当額）	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,467,783	3,075,234	1,786,153	（うち特定資産への充当額）	-138,899	-142,392	-146,871
指定正味財産期末残高	3,075,234	1,786,153	2,221,122				
正味財産期末残高	3,735,293	2,466,713	2,915,343				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式（単位）	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
①	自己収入比率	（基本財産運用益＋自己収入＋自主事業収入）／当期支出合計×100（%）	20.0	19.7	98.5%	20.0	20.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	(0千円+10,290千円+357,666千円) / 1,863,733千円 × 100 (%)					
②	人件費比率	人件費／（当期支出合計＋次期繰越収支差額）×100（%）	8.0	8.0	100.0%	8.0	8.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	149,483千円 / (1,863,733千円+13,661千円) × 100 (%)					
③	借入金依存比率	（短期借入金＋長期借入金）／負債及び正味財産合計×100（%）	0.0	0.0	100.0%	0.0	0.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	(0千円+0千円) / 4,043,416千円 × 100 (%)					
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	令和3年度財政援助団体等監査（事務局監査：令和3年10月5日、委員監査：令和3年10月28日）実施の結果、指摘事項なし
-----------	---

総合評価	公社等自己評価	畜産コンサルタント機能を最大限に活かした農家経営指導や指導人材の育成、補助事業を活用した肉用牛の増頭をはじめとする生産力の強化、畜産経営安定に向けた価格安定対策事業の推進、家畜防疫体制の強化を図るとともに、令和3年度も引き続き新型コロナの緊急支援事業に積極的に取り組み、農家の不安解消と経営安定に努めた。 今後とも生産者の付託に応えるため、畜産農家のニーズや経営環境等の情報収集と効果的な事業の実施に務め、緊急支援事業等にも積極的に取り組む。そのためには、職員の意識と能力向上や、部署を超えて情報共有・業務連携する体制を整備し、合わせて効率的な業務の見直し、職員の年齢構成や業務知識等を考慮した人員配置や業務配分などにより組織体制の強化を図る必要がある。				県所管部課二次評価	令和3年度も本県の基幹産業である畜産業に様々な面（農家に対する経営コンサルタント指導や指導人材の育成、補助事業による家畜導入や施設・機械整備などによる生産振興対策等）から貢献があった。 活動指標においては全てにおいて、目標を達成しており評価できる。特に生産経営指導・データベース支援農家数においては、目標値を大きく上回った。また、財務指標においては、新型コロナの緊急支援事業を行う中においても自己収入比率は目標値にほぼ達しており、人件費比率及び借入金依存比率は目標値を達成できた。 今後とも長年培ってきた畜産経営指導等のノウハウを生かした活動を通じ、本県畜産農家の経営安定及び発展への寄与が期待される。			
	評価（A：良好、B：ほぼ良好、C：やや課題あり、D：課題多い）	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価（A：良好、B：ほぼ良好、C：やや課題あり、D：課題多い）	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		A	B	B	B		A	B	B	B
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	活動内容については、畜産農家への経営指導をはじめ、価格安定対策や家畜疾病対策等に積極的に取り組み、全ての指標を達成しており、評価できる。 財務内容については、全ての指標を達成またはおおむね達成し、経営健全な財務体質を維持しており評価できる。 引き続き、経費節減や自己収入の確保等により経営基盤の安定を図りながら、畜産農家の経営安定や家畜疾病対策等に資する取組を実施していくことが求められる。			